

2007年12月4日

渡海紀三朗文部科学大臣殿

琉球大学 教育学部
社会科教育専修
教授 高嶋伸欣
准教授 山口剛史

拝啓

貴職におかれては、文部科学行政に日頃奮闘されていること特に、昨今の沖縄戦「集団自決」検定問題において、主務大臣として取り組まれていることに、敬意を表します。

しかし、その「集団自決」検定問題は、目下焦点となっている執筆者及び発行者による「訂正申請」は、そのまま承認されるべきであるのは当然であるとした上で、私たち沖縄県民大会決議の主旨を全うすべきと考える者は、あくまでの当該の検定意見は誤りであったとして撤回されるべきものと認識しております。この点は先般11月5日に私たち両名が提出した要望書でも明確に指摘致しました。

けれども貴職を含め、文部科学省の関係者は、その後も一貫して検定意見の撤回はできない、との見解を国会等で表明し続けています。このことは、私たちにとって何とも納得できないものです。

特に、撤回できない理由として、「手続き上、撤回できない」と、検定規則等に検定意見の撤回手法が何も規定されていないことを根拠とする説明がくり返されているのは、きわめて不当であると、私たちは考えます。なぜなら、そうした検定意見撤回の手続きを検定規則等の中にこれまで策定してこなかった貴職等文科省担当者たちの重大な不作為責任がそこにあることにまったく触れず、まるまる他人ごとの如く、「検定規則等にその手続きが定められていないから」との答弁、説明に終始しているからです。

私たちは今回の「集団自決」検定問題が広く報道された3月末の直後に、これまでも検定意見が事実上撤回された例が2つあると指摘してきました。特に最初の事例に当たる1980年度高校「現代社会」の検定でチツソ等四大公害訴訟の原告名を削除あるいはイニシャル扱いにさせた件が、わずか2カ月後に、文部省（当時）が明確に検定意見の誤りを認めたケースです。にもかかわらず文部省は、執筆者からの正誤申請手続きで復活させるという措置ですませました。何も落ち度のない執筆者たちが、落ち度のあった文部省に許可を求めてなぜ申請させられるのか？との疑問及び不満が当時から強く表明されてきました。それでも当時は、明確な前例もなく、制度にそうした不備があったのもある程度やむをえないと考えられます。

しかし、それから今年度まですでに27年の歳月を経過し、その間に何度も検定規則等の見直しの機会がありました。にもかかわらず、検定意見に誤りがあった場合の是正措置

が検定規則等に加えられることがないまま今日に至っています。これは明らかに貴職以前の歴代文部・文科大臣及び担当文部・文科官僚の不作为、怠慢そのものであると私たちは考えます。

今からでも遅くはありません。省令レベルの検定規則等に、至急、検定意見に誤りがあった場合の校正・公平な是正手続き等の規定を創設し、今年度から適用するものとして、今回の「集団自決」検定意見の撤回手続きを履行されるよう求めます。

以上が前回11月5日の要請書を提出した際に、私たちが口頭で要望した内容です。それを今回改めて文書化することにしたのは、要請の内容を明確にし、広く関係者に周知することにしたいと考えただけでなく、新たな事態が生じ、よりいっそう不作为の責任が明確になったことを指摘する必要が生じたためです。

それは、1991年度、中学校社会科公民的分野の教科書（日本書籍）に引用されていた暉峻淑子埼玉大学教授の著作『豊かさとは何か』の内容について、まったく事実と逆の国会答弁をした厚生省（当時）官僚の主張を前提に当該引用文の削除を命じた検定意見の誤りが5年後の96年に厚相、文相によって確認され、教科書課長が暉峻氏に謝罪文を送付したことで明白になり、97年度用の日本書籍版中学公民教科書に引用文が復活したという事実の存在を関係者から私たちに教示されました。

しかも、これだけ検定意見の誤りが明白であるにもかかわらず、この後も引用文の復活は訂正申請手続きを出版社側がしなければなりませんでした。手続き上では文部省側の責任はまったく問われず、発行者側に責任を押しつけた不公正さがこの後もそのまま押し通されました、この後も緊急措置だったとみなすことができなくもありません。

しかし、その後の96年から今日まで11年間、なおも文科省はこうした前例がありながら相変わらず、是正規定の策定を不作为のままにしてきました。

私たちは、この新たに指摘された事例の存在を考慮に入れた場合、ますます貴職と文科省担当者たちの不作为責任は重大であると考えます。

よって、ここに検定意見が誤りである場合の公正、公平な是正規定の早急な策定とその規定の「集団自決」検定意見への適用を強く要望いたします。

敬具

【連絡先】

琉球大学教育学部 高嶋伸欣研究室

TEL/FAX 098-895-8342